

1. 会員情報

氏名：松本 敦史

会員番号：PEN-0179

保有資格：技術士（原子力・放射線）

第1種放射線取扱主任者

専門分野：原子力プラントの事故時の過渡応答解析

FE 試験受験：2016/09

PE 試験受験：2017/10



私は神戸市内のメーカーにおいて、原子力プラントの設計の内、原子力プラントの事故時の過渡応答解析を行っています。また、大学では原子核の核分裂反応によって発生する即発中性子のエネルギースペクトルの理論計算を研究しておりました。

私の体験記が PE 試験を受験する方の参考となれば幸いです。

2-1. 受験の動機

私は 2015 年に技術士（原子力・放射線）の資格を取得しましたが、技術士試験に挑む中で知り合った先輩技術士が PE 資格も取得していたことを受け、先輩社員に追いつきたい想いで PE 資格への挑戦を決めました。また、私は海外での業務に興味があり、海外においても技術力を客観的に示すことのできる PE 資格の取得にメリットを感じていました。

2-2. FE 試験

試験科目：

- Mechanical

勉強方法：

- 3カ月ほどかけて参考書（FE Mechanical Review Manual, Michael R. Lindeburg）の内容を確認。
- その後、試験までの半年間ほど問題集（FE Mechanical Practice Problems, Michael R. Lindeburg）をひたすら繰り返し解きました。また、問題を解く際には、試験時に参照可能である Reference book を確認するように心掛け、Reference book に慣れるようにしました。
- また、問題集を繰り返し解く中で苦手分野を抽出し、苦手分野については参考書等で重点的に復習するようにしました。

所感：

- FE 試験の個々の問題の難易度は高くないのですが、出題範囲が広いので、幅広く勉強する必要があります。

- その分、普段はあまり関わらない分野の勉強も必要となり、広く工学の知識を復習することができるきっかけとなり有益であったと感じています。

2-3. PE 試験

試験科目：

- Nuclear

勉強方法：

- 試験までの9カ月ほど問題集（Nuclear Engineering Solved Problems, John A. Camara）をひたすら繰り返し解きました。
- 試験科目は専門分野であったこともあり、苦手分野というのはあまりありませんでした。

試験時の持ち込み資料：

- 放射線概論—第1種放射線試験受験用テキスト, 柴田徳思
- 核図表
- 原子炉の初等理論, ジョン・R・ラマーシュ著
- FE Mechanical Review Manual, Michael R. Lindeburg
- Nuclear Engineering Solved Problems, John A. Camara
- 蒸気表

所感：

- 他分野は参考書や問題集が充実している印象ですが、Nuclear 分野は問題集が Nuclear Engineering Solved Problems しかありませんので、まずはこの問題集の内容をきっちり押さえておくことが重要と思います。
- また、私が持ち込んだような資料の内容を広く押さえておくことも試験対策になると考えます。
- 私は持ち込みませんでしたが、以下の資料も併せて試験時に持ち込めば良かったと考えております。
 - 原子炉の理論と解析, ジェームズ・J・ドウデルスタット
 - 原子力プラント工学 (原子力教科書)
 - 原子炉動特性とプラント制御 (原子力教科書)
 - 原子炉物理実験, 三澤毅
 - 英和辞書